

教養セミナーⅡ

P-01-24-S

◇履修方法

教養セミナーⅡは、Ⅱ期に1テーマを選択し履修する。

I 授業の目的

少人数による教育を通じて、教員および参加者相互でテーマをめぐって discussion しながら双方向的学習をすることにより、コミュニケーション能力、自主的学習態度を身につける。

II 到達目標

テーマごとに提示する。

III 教育内容

テーマ及び担当者：次頁の表のとおり

IV 学習及び教育方法

セミナー：自主的かつ双方向的に学ぶ。

V 評価の方法

出席を重視し、参加態度、理解度、発表内容、発表能力等を総合的に評価する。
詳細は教員により異なる。

VI 推薦する参考書

テーマごとに提示する。

Ⅱ期開講教養セミナー 一覧

テーマ	担当教員	開講予定時限
組織的不祥事事例の分析	神谷 隆一	火曜・1限目
ニュルンベルク綱領を本気で読む	竹山 重光	金曜・1限目
心理アセスメント入門	石井 拓	金曜・1限目
X線の物理	牧野 誠司	火曜・1限目
生命機能解明のための、機器分析化学	茂里 康	火曜・1限目
疑似科学を考える	藤村 寿子	金曜・1限目
最新の生命科学技術に触れる	森田 強	火曜・1限目

配当学年：令和6年度入学生（1年次生）

組織的不祥事事例の分析（神谷 隆一）

企業をはじめとする組織における不祥事は後を絶たない。本セミナーでは、組織的不祥事事例をいくつか取り上げ、各々の事件の事実関係、発生原因、再発防止策、法的責任を検討し、組織的不祥事はなぜ起こるのか、再発防止策として何が有効なのかについて考察することを試みる。セミナーは演習形式で行い、レポート課題を課す。（評価の方法：授業での発表52%、レポート課題48%）。毎回、教科書の指定範囲及び配布資料を事前に十分読み込んで授業に参加することを求める。これらの学習により、組織的不祥事の原因分析・再発防止策について考察する力を身につけることを目標とする。

テキストは、樋口晴彦『なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか 有名事件13の原因メカニズムに迫る』

（日刊工業新聞社）を用い（開講時の最新版を使用する）、参考資料を適宜配布する。

なお、Ⅰ期に「組織的不祥事事例の分析」を履修した学生は、履修登録を認めません。

オフィスアワー 火曜日 12:30～13:30

【連絡方法】 m-igaku★wakayama-med.ac.jp（三葛学生課まで）

【実施場所】 医学部三葛教育棟

【備考】 面談場所を用意しますので、事前に学生課に連絡願います

ニュルンベルク綱領を本気で読む（竹山 重光）

「ニュルンベルク綱領」（The Nuremberg Code）は、20世紀後半以後の医学医療を原理的次元で決定している最重要文書の一つである。必読古典と言ってよいが、実際に本文を読んだことのある医療従事者はあまりいないだろう。たいていは名前を知っているにすぎない。このセミナーでは、この文書の本気で読み、考え、理解していく。そのための補助手段として、JAMAが1996年に企画し掲載した同文書をめぐる論考なども用いる。テキストは基本的に英語。こういうテーマに取り組むべきであると考える者のみ参加するように。

【特記】今年度は諸般の事情によりこれまでと同様の様態では授業を実施できないと予測される。実際にそうなった場合、初回の授業で進め方などを説明し指示など行なう。上級生の与太話を鵜呑みせぬように。

心理アセスメント入門（石井 拓）

アセスメントは、患者やクライアントにとって何が問題なのかを特定したり、治療や介入の効果を測ったりするために必要である。特に、患者やクライアントを受け入れる際には、その人を多面的に知るために、精神症状、人格と知的能力、身体症状、心理的・社会的ストレス、生活適応度などについてのアセスメントが必要で、これらのアセスメントに精通することで人をみる目を養える。このセミナーでは、さまざまなアセスメントについて調べたり実体験したりすることを通して、それぞれの利点や限界について学ぶ。

オフィスアワー 月曜日 16:30～17:30

【連絡方法】 tishii★wakayama-med.ac.jp

【実施場所】 医学部三葛教育棟3階心理学教員室

X線の物理（牧野 誠司）

医療の現場などで用いられているX線について学ぶ。まず、放射線全般について学習し（放射線の発生や物質との相互作用、放射線検出器、放射線の人体への影響など）、次に、X線の発生や検出、医療への応用について学ぶ。また、半導体X線検出器を用いた実験（蛍光X線分析など）を行い、X線の性質について理解を深める。

オフィスアワー 担当の各講義・セミナー終了後約10分間

【連絡方法】 事前連絡不要

【備考】 基本的に、居室にいるときには極力質問には対応する。在室かどうか不安な場合は、事務に確認を依頼してもらってもよい。

生命機能解明のための、機器分析化学（茂里 康）

生命科学で用いられている、各種機器分析の原理・方法・応用例を学ぶ。例えばポストゲノム時代の解析手法として、タンパク質の発現及び機能を網羅的に解明する研究「プロテオーム解析」や、代謝物質の網羅的解析の「メタボローム解析」等が代表例として、近年急速に技術革新が起こっている。これらの最先端の機器分析技術のみならず、古典的であるが日常的に用いている各種機器分析の知識をも習得する。そのためにも最新の学術論文も取り入れながら学び、単に一方の座学にならないように討議を中心に実施する。

オフィスアワー 水曜日 17:00～18:00

【連絡方法】 yshigeri★wakayama-med.ac.jp（三葛学生課まで）

【実施場所】 医学部三葛教育棟

疑似科学を考える（藤村 寿子）

疑似科学とは「ニセ科学」や「似非（エセ）科学」などとも呼ばれ、科学を装いながら実際には科学的根拠が無い、または弱い言説のことをいう。健康に良いとか病気が治るといったうたい文句とともに、世の中には疑似科学に基づいた考えや製品が広く普及し、時には社会に悪影響を及ぼす。このセミナーでは、疑似科学といわれている言説を批判的に捉えることを通して、科学的とはどういうことを考えていく。受講生には、各自が設定した疑似科学に関するテーマについて調査し、その成果を発表してもらう。

オフィスアワー 金曜日 16:30～17:30

【連絡方法】 Teamsのチャット

講義日程表(教養セミナーⅡ 組織的不祥事事例の分析)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.9.3	(火)	1	ガイダンス	法学教室	神谷
2	R6.9.10	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
3	R6.9.17	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
4	R6.9.24	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
5	R6.10.1	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
6	R6.10.8	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
7	R6.10.15	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
8	R6.10.22	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
9	R6.10.29	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
10	R6.11.5	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
11	R6.11.12	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
12	R6.11.19	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
13	R6.11.26	(火)	1	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
14	R6.12.3	(火)	1	授業のまとめ	法学教室	神谷

講義日程表(教養セミナーⅡ ニュルンベルク綱領を本気で読む)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.9.6	(金)	1	綱領本文を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
2	R6.9.13	(金)	1	綱領本文を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
3	R6.9.20	(金)	1	綱領本文を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
4	R6.9.27	(金)	1	綱領本文を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
5	R6.10.4	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
6	R6.10.11	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
7	R6.10.25	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
8	R6.11.1	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
9	R6.11.8	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
10	R6.11.15	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
11	R6.11.22	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
12	R6.11.29	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
13	R6.12.6	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山
14	R6.12.13	(金)	1	綱領研究文献を原典で読む	哲学・倫理学	竹山

講義日程表(教養セミナーⅡ 心理アセスメント入門)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.9.6	(金)	1	ガイダンス、テーマと進行についての相談	心理学	石井
2	R6.9.13	(金)	1	心理アセスメントに関する基礎事項の下調べ	心理学	石井
3	R6.9.20	(金)	1	学生による発表	心理学	石井
4	R6.9.27	(金)	1	学生による発表	心理学	石井
5	R6.10.4	(金)	1	心理アセスメントに関する論文読解、心理アセスメント各種技法の練習、心理アセスメントの体験的实施、心理尺度の作成等、学生が自主的に決めたテーマに沿った取り組み	心理学	石井
6	R6.10.11	(金)	1		心理学	石井
7	R6.10.25	(金)	1		心理学	石井
8	R6.11.1	(金)	1		心理学	石井
9	R6.11.8	(金)	1		心理学	石井
10	R6.11.15	(金)	1		心理学	石井
11	R6.11.22	(金)	1		心理学	石井
12	R6.11.29	(金)	1		心理学	石井
13	R6.12.6	(金)	1		レポート作成準備	心理学
14	R6.12.13	(金)	1	レポート作成準備	心理学	石井

講 義 日 程 表 (教養セミナーⅡ X線の物理)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.9.3	(火)	1	セミナーの進め方等の説明	物理学	牧野
2	R6.9.10	(火)	1	X線を含む放射線についての受講生による発表 X線についての実験(蛍光X線分析など)	物理学	牧野
3	R6.9.17	(火)	1		物理学	牧野
4	R6.9.24	(火)	1		物理学	牧野
5	R6.10.1	(火)	1		物理学	牧野
6	R6.10.8	(火)	1		物理学	牧野
7	R6.10.15	(火)	1		物理学	牧野
8	R6.10.22	(火)	1		物理学	牧野
9	R6.10.29	(火)	1		物理学	牧野
10	R6.11.5	(火)	1		物理学	牧野
11	R6.11.12	(火)	1		物理学	牧野
12	R6.11.19	(火)	1		物理学	牧野
13	R6.11.26	(火)	1		物理学	牧野
14	R6.12.3	(火)	1		物理学	牧野

講義日程表(教養セミナーⅡ 生命機能解明のための、機器分析化学)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.9.3	(火)	1	ガイダンス	化学	茂里
2	R6.9.10	(火)	1	機器分析化学関連の英語論文輪読(1)	化学	茂里
3	R6.9.17	(火)	1	機器分析化学関連の英語論文輪読(2)	化学	茂里
4	R6.9.24	(火)	1	機器分析化学関連の英語論文輪読(3)	化学	茂里
5	R6.10.1	(火)	1	機器分析化学関連の英語論文輪読(4)	化学	茂里
6	R6.10.8	(火)	1	機器分析化学関連の英語論文輪読(5)	化学	茂里
7	R6.10.15	(火)	1	機器分析化学:吸光分析(1)	化学	茂里
8	R6.10.22	(火)	1	機器分析化学:吸光分析(2)	化学	茂里
9	R6.10.29	(火)	1	生体分析化学関連の英語論文輪読(1)	化学	茂里
10	R6.11.5	(火)	1	生体分析化学関連の英語論文輪読(2)	化学	茂里
11	R6.11.12	(火)	1	生体分析化学関連の英語論文輪読(3)	化学	茂里
12	R6.11.19	(火)	1	生体分析化学関連の英語論文輪読(4)	化学	茂里
13	R6.11.26	(火)	1	生体分析化学関連の英語論文輪読(5)	化学	茂里
14	R6.12.3	(火)	1	まとめ・討論	化学	茂里

講 義 日 程 表 (教養セミナーⅡ 疑似科学を考える)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.9.6	(金)	1	ガイダンス	物理学	藤村
2	R6.9.13	(金)	1	テーマに関する調査・研究(1)	物理学	藤村
3	R6.9.20	(金)	1	テーマに関する調査・研究(2)	物理学	藤村
4	R6.9.27	(金)	1	テーマに関する調査・研究(3)	物理学	藤村
5	R6.10.4	(金)	1	研究発表・討論(1)	物理学	藤村
6	R6.10.11	(金)	1	研究発表・討論(2)	物理学	藤村
7	R6.10.25	(金)	1	研究発表・討論(3)	物理学	藤村
8	R6.11.1	(金)	1	研究発表・討論(4)	物理学	藤村
9	R6.11.8	(金)	1	研究発表・討論(5)	物理学	藤村
10	R6.11.15	(金)	1	研究発表・討論(6)	物理学	藤村
11	R6.11.22	(金)	1	研究発表・討論(7)	物理学	藤村
12	R6.11.29	(金)	1	研究発表・討論(8)	物理学	藤村
13	R6.12.6	(金)	1	研究発表・討論(9)	物理学	藤村
14	R6.12.13	(金)	1	研究発表・討論(10)	物理学	藤村

講 義 日 程 表 (教養セミナーⅡ 最新の生命科学技術に触れる)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.9.6	(火)	1	ガイダンス、グループ分け、学習テーマの検討	生物学	森田
2	R6.9.13	(火)	1	学習テーマの決定、内容の吟味	生物学	森田
3	R6.9.20	(火)	1	グループ単位でのワーキング1	生物学	森田
4	R6.9.27	(火)	1	グループ単位でのワーキング2	生物学	森田
5	R6.10.4	(火)	1	グループ単位でのワーキング3	生物学	森田
6	R6.10.11	(火)	1	グループ単位でのワーキング4	生物学	森田
7	R6.10.25	(火)	1	学習発表1	生物学	森田
8	R6.11.1	(火)	1	学習発表2	生物学	森田
9	R6.11.8	(火)	1	学習発表3	生物学	森田
10	R6.11.15	(火)	1	学習発表4	生物学	森田
11	R6.11.22	(火)	1	学習発表5	生物学	森田
12	R6.11.29	(火)	1	学習発表6	生物学	森田
13	R6.12.6	(火)	1	発表会の質問内容に対する解答	生物学	森田
14	R6.12.13	(火)	1	発表会の質問内容に対する解答(予備日)	生物学	森田